

ご存じですか！文化財

69

「オニバス自生地」

市指定天然記念物 平成15年7月7日指定



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



所在地 飯積地内

飯積三軒の自生地は、かつて越中沼という大きな沼でした。昭和32(1957)年に埋め立てられ水田になりましたが、その後、昭和57年に用水路が掘られ、埋まっていた種子が発芽したのが再生の始まりです。

平成8(1996)年から、地元住民を中心に保護活動が続けられています。真夏の早朝、直径2mにもなる濃緑色の葉を突き破って、赤紫色の可憐な花を咲かせるオニバス。今年は保護活動の成果が出て、生育も順調です。開花を十分楽しめるのではないのでしょうか。

オニバスは、7月下旬から9月上旬頃まで、早朝に赤紫色の可憐な花を咲かせるスイレン科の巨大な浮葉性植物です。葉の表裏、花のガクや葉柄などが鋭い硬いとげに覆われています。花の咲く植物の中では原始的な姿をとどめていることから、「生きた化石」といわれています。

かつて東北地方以南の沼や潟に広く分布していましたが、現在では環境省の絶滅危惧種に指定されるほどの稀少植物となってしまいました。県内には他に自生地はありません。

